

国際医療福祉大学大学院
INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

GUIDEBOOK

福祉支援工学分野

福祉用具管理指導者領域

大学院では日本初、唯一の福祉用具に特化した分野
全国から入学可能

医療福祉学研究科

■修士課程 保健医療学専攻



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

ごあいさつ



分野責任者
山本澄子 教授

我が国の高齢化率は28%を超え、「2025年の地域包括ケア体制」の整備には、福祉用具を含めた環境整備が不可欠です。しかし福祉用具を必要とする人たちに「適切な」福祉用具を提供するには、課題があるのも事実です。その1つは福祉用具の知識と技術を持つ人材の不足であり、そうした人材を支える実践的な研究の不足です。

本領域は2011年4月に公益財団法人テクノエイド協会が認定する「福祉用具プランナー管理指導者」資格を取得できる唯一の大学院修士課程として開講致しました。2013年度からは「福祉用具」コースと「福祉用具管理指導者」コースの選択ができるように内容を改定致しました。

「福祉用具」コースは福祉用具についてさまざまな視点から考える研究主体のコースです。「福祉用具管理指導者」コースは、「福祉用具管理指導者」の資格取得をめざしながら、福祉用具に関する研究を行います。2年間という限られた時間ですが、福祉用具に対する問題意識と学びを大学院で深めてみたいという方は、是非いらしてください。

経歴：慶應義塾大学大学院工学研究科修了、東京都補装具研究所研究員、東北大学大学院助教授を経て、2001年より現職。

2011年、下肢装具の開発で文部科学大臣表彰、国際義肢装具連盟 (ISPO) 日本支部副会長

専門：動作分析 学位：博士（工学）

研究テーマ：片麻痺者の歩行分析、下肢装具の開発など。使用者の動きや負担を通じて福祉用具の評価を行う研究指導を行います。

著書：「基礎バイオメカニクス（医歯薬出版）」「ボディダイナミクス入門シリーズ（医歯薬出版）」「臨床歩行計測入門（医歯薬出版）」「観察による歩行分析（訳）（医学書院）」など

教員一覧



東島弘子 教授

「福祉用具は、なんでもっと利用されないの？」そうした疑問はありませんか。福祉用具に関する実践的な研究は、まだまだ少ないのが現状です。修士論文という形にすることで、自分の疑問を解いていってください。疑問を形にして、論文やレポートにまとめあげるまで、一緒に考えたいと思います。

経歴：国際医療福祉大学大学院博士課程修了。社会人経験後、日本社会事業大学大学院修士課程修了、同大学社会事業研究所研究員。2011年国際医療福祉大学大学院講師、2016年より現職。

専門：福祉用具論、社会福祉学 学位：博士（医療福祉経営学）

資格：社会福祉士

研究テーマ：福祉用具利用に関する諸制度、事故・ヒヤリハットなど。高齢社会の中で福祉用具利用の在り方に係る研究指導を行います。

著書：「福祉用具の危機—認知症高齢者の生活の安全のために（ワールドプランニング）」「介護保険制度下の福祉用具事業（研成社）」

石井慎一郎 教授

福祉支援工学分野では、福祉用具の研究開発の他にも、身体運動のバイオメカニクスを研究する領域があります。こうした研究から得られた知見を福祉用具の開発やリハビリテーション技術に応用し、人の生活を支える学問が「福祉支援工学」です。理学療法士、作業療法士、義肢装具士、柔道整復師、健康運動指導士など様々な職種の院生が在籍しています。

バイオメカニクスに興味のある方は、ぜひ我々と一緒に人の役に立つ研究をしましょう。

経歴：社会医学技術学院理学療法学科卒 理学療法士。永生会永生病院リハビリテーションセンター勤務。国際医療福祉大学大学院福祉支援工学分野博士課程修了、博士（保健医療学）。神奈川県立保健福祉大学リハビリテーション学科教授を経て、2018年より国際医療福祉大学大学院 福祉支援工学分野教授。

専門：運動器疾患のリハビリテーション、高齢地域の地域再生、生活支援機器の開発

学位：博士（保健医療学）

資格：理学療法士

研究テーマ：変形性膝関節症患者の歩行分析、転倒回避のための動的姿勢制御戦略、協調制御理論を用いたリハビリテーション機器の開発など

出口弦舞 准教授

福祉用具は使用する方の可能性と主体性を広げる大変有意義な道具であり、その用途と種類も様々です。このような福祉用具を是非多くの方に学んで頂きたいと思っています。そして研究手段を学び、活かして頂くことで福祉用具の発展がさらに期待できると考えています。

専門：福祉用具（自助具含む）の適用 学位：博士（保健医療学） 資格：作業療法士
研究テーマ：認知機能低下を認める脳卒中片麻痺の方への福祉用具の適用として、安全に車いす乗移ができる方法についての研究を行っています。

多彩な講師陣

■ 牛木彩子 小田原保健医療学部講師、障がいのある人の住まいがテーマ

■ 窪田 聡 小田原保健医療学部准教授

他、各分野の専門家

教員の略歴、担当科目、研究業績、連絡先等は、大学院ホームページをご覧ください。

選べる2つのコース



カリキュラムと学びの環境

✿ 講義科目（コースにより異なります）

基礎的科目（両コース共通科目）：社会福祉概説、福祉支援工学
専門的科目：福祉用具市場経営論、個別援助計画、福祉住環境学（福祉用具管理指導者コース）
演習：「移乗」（両コース共通）、「起居」「入浴・排泄」「車いす」（福祉用具管理指導者コース）
研究：修士論文作成（両コース共通。福祉用具管理指導者コースの留学生は課題研究レポート可）

✿ 講義時間帯（平日の夜間と日曜日に学びます）

平日の講義は原則火・水曜日（1年次 両コース共通）の19：45～21：15（7時限目）
授業はオンライン、eラーニングで行われます。
福祉用具コースの1年次の演習は、1年次前期の「移乗」のみ必修です。
福祉用具コースは科目を選択できるので、仕事との両立がしやすくなります。

✿ 修士論文作成へ個別指導

専門学校卒業等で卒業論文の機会がなかった人、論文を書くのが全く初めての人でも、テーマの選定、書き方、まとめ方を個別指導します。「問題意識」があることが一番です。

✿ 福祉用具を持ち込んで演習

介護用ベッド、車いす、電動車いす、移動用リフト、スライディングボード、排泄・入浴関連用具などの福祉用具を持ち込み、専門講師がじっくり指導します。

社会人が
学びやすい
夜間のコース

さまざまな資格を取得可能

✿ 福祉用具に関する資格取得

福祉用具に関わるさまざまな資格の取得が可能です。
リフトリーダー（1年次両コース科目に包含）
福祉用具プランナー管理指導者（福祉用具管理指導者コース）
※公益財団法人テクノエイド協会が認定する福祉用具プランナーの上級資格。資格取得後は、テクノエイド協会での講師登録ができます。
車いす安全整備士（福祉用具管理指導者コース科目、一般社団法人日本福祉用具評価センターが試験、認定）
その他「可搬型階段昇降機安全指導員」（一部要件あり）

✿ 日本作業療法士協会の「専門作業療法士」認定資格と単位互換

一般社団法人日本作業療法士協会が認定する専門作業療法士（福祉用具分野）と単位を互換しています。

論文題目（修了者の例）

- 特別養護老人ホームにおける施設長・介護職員の難聴入居者へのコミュニケーションの実態と聴覚支援機器利用
- 地域在住高齢者の杖・シルバーカーの使用意識に関する研究
- 福祉用具専門相談員の紙おむつ選定への関与に関する調査研究



移乗、歩行補助具の演習

受験に関して

- ・受験資格（1）大学卒 または
- ・受験資格（2）専門学校卒で、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、柔道整復師、義肢装具士、看護師など関連する国家資格等を持ち、出願資格審査に通った場合
※応募前に指導教員との事前面談が行われます。
- ・詳細は、大学院ホームページ (<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>)、東京赤坂キャンパス入試事務室 (TEL：03-5574-3903) でご確認ください。
- ・博士課程志願者は、直接、教員までお問い合わせください。個別に説明します。

